

J Uナビ& J Uトレード会員各位

(一社) 日本中古自動車販売協会連合会
 日本中古自動車販売商工組合連合会
 株式会社 J Uコーポレーション

J Uオークション検査基準改正のご案内

拝啓。時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、日本オートオークション協議会、日本自動車査定協会、自動車公正取引協議会の修復歴判定基準の改正に伴い、J Uオークション検査基準(J Uテントリを含む)を下記のとおり改正しましたのでお知らせ致します。

今後とも、J Uコーポレーションは皆様のご期待にお応えできるよう誠心誠意努力を重ねて参りますので、何卒変わらぬ御愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

<主な改正内容>

◇別表 I (修復歴判定基準)

⇒各骨格部位の修復歴を判断する大きさ基準が変更となります。

現行基準	新基準
小さなもの (=握りこぶし程度) ※クロスメンバーに使用されている表現	小さなもの (=カードサイズ未満)
軽微なもの (=500 円玉程度) ※クロスメンバー以外の骨格部位に使用されている表現	小さなもの (=カードサイズ未満)

※7 つの骨格部位全てにおいて、修復歴を判断する大きさ基準はカードサイズを超えるか否かの判断になります。

◇フロントクロスメンバーの定義変更

現行定義	新定義
●フロント 左右サイドメンバーに溶接されているもの	●フロント 左右サイドメンバーに <u>直接</u> 溶接されているもの (<u>間接接合は除く</u>)

※詳しくは、別紙 (フロントクロスメンバーの定義変更に関する補足資料) をご参照ください。

◇別表IV (評価点の上限基準)

⇒3.5 点上限欄にある骨格部位以外の溶接部位交換車に「ラジエータコアサポート」「旧クロスメンバー」が追加されます。

※旧クロスメンバーとは、上記フロントクロスメンバーの新定義から外れたクロスメンバーを指します。

◇上記の改正基準の実施日は、平成 31 年 4 月 1 日以降開催の J Uオークション・平成 31 年 4 月 1 日以降登録の J Uテントリ出品車両より適用となります。

以上

(別紙)フロントクロスメンバーの定義変更に関する補足資料

(1)クロスメンバーとして扱うもの

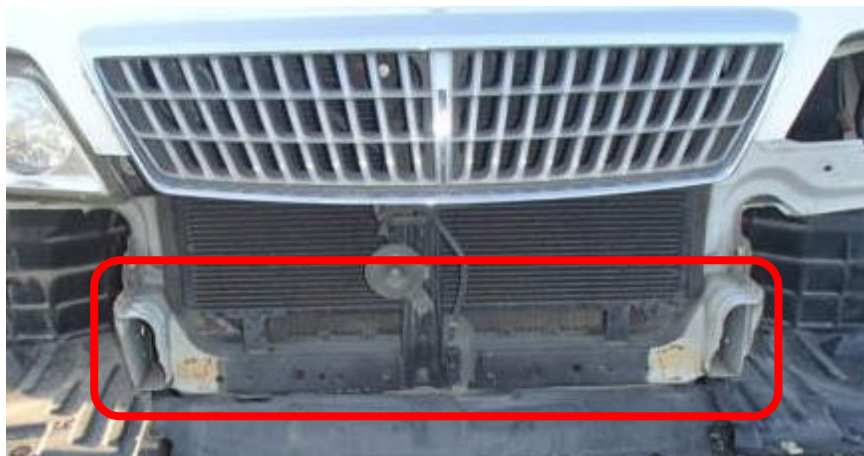
左右サイドメンバーに直接溶接されていて、且つ部品が左右で分割されていないもの

車正面からの図



※「サ」＝サイドメンバー

参考例：ローレル (HC35)



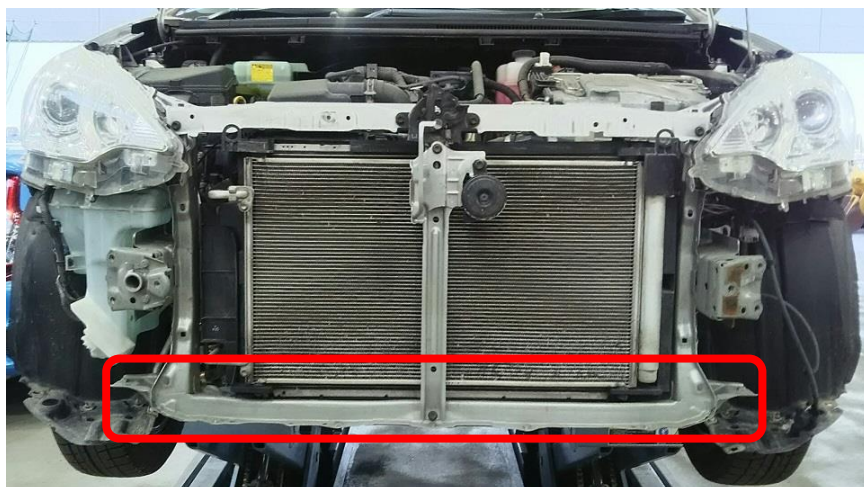
(2)クロスメンバーとして扱わないもの

左右サイドメンバーに直接溶接されていないもの (複数の部品で間接接合されているもの)

車正面からの図



参考例：アクア (NHP10)



フロントクロスメンバー右側部拡大

アクア (NHP10) は、サイドメンバー内側にあるラジエータコアサポートを介して間接的にクロスメンバーが接続されています。
そのため、上記赤枠囲み部分のクロスメンバーに損傷や交換があった場合でも修復歴となりません。